

ふくしま定住・二地域居住推進アクションプログラム

平成19年6月18日策定、平成22年10月15日一部改訂

I 背景・趣旨

田舎暮らし志向の高まり等を踏まえ、団塊の世代を中心とした大都市居住者等を本県に戦略的に誘導し、定住・二地域居住を推進することにより、県内の地域コミュニティの担い手の確保や消費需要の拡大、雇用機会の創出等により地域振興を図ることが緊急の課題となっています。

II プログラムの性格

本プログラムにおいては、県における重点的、戦略的に取り組むべき施策の体系を分かり易く示すとともに、定住・二地域居住の推進につながる県、市町村、民間団体等が行う関連事業を体系別に示すことによって、関係の団体が情報を共有し、緊密な連携のもとに、定住・二地域居住の総合的・効果的な推進を図ります。

III 福島県としての戦略性

本県は、首都圏から距離的にも時間的にも比較的近く、多くの大都市居住者が求める自然や自然の恵みにも恵まれています。また、湖沼や河川の水質、地震に対する地盤の安定性等、安全・安心の面でも全国トップレベルにあり、定住・二地域居住の最適地です。こういった本県の優位性やポテンシャルをこれまで以上にアピールしながら、下記3つの取組項目（施策の体系）に沿った事業を展開することにより、福島県に戦略的に定住・二地域居住者を誘導します。

IV 取組項目（施策の体系）

定住・二地域居住に関する国や関係団体を実施した大都市居住者に対するニーズ調査の内容や、平成18年度本県の庁内会議で行った福島県へのUIターン者・受入者へのインタビュー調査等を踏まえ、本県の定住・二地域居住施策を行う上での課題を整理しました。

今回プログラムの策定にあたって、これらの課題に対応していくための取組項目（施策の体系）を「受入体制の整備」「PR・情報提供」「誘導策の展開」の3つに類型化しました。今後はこの項目に沿った形で事業を展開します。

1 受入体制の整備

地域住民の受入意識の醸成、市町村や民間団体との連携体制の構築、情報インフラ整備の推進等を図るとともに、受入主体となる市町村、地域住民及び民間団体等が実施する定住・二地域居住推進の取組みを積極的に支援します。

2 PR・情報提供

各種相談窓口におけるきめ細やかな相談体制の整備を図るとともに、市町村・関係団体との連携によりホームページ・各種情報誌やその他広報媒体を通じた情報発信等を積極的に実施します。

3 誘導策の展開

各種体験ツアーや交流イベント等による交流人口の拡大を推進し、さらに都市部等の住民と本県の結びつきをより強めるため市町村や地域づくり団体と連携し、交流人口の拡大や定住・二地域居住への誘導を図ります。

なお、その際は福島県人会、在京市町村人会のほか県外からの観光客等、特に本県に関心を持つ大都市居住者等への積極的な働きかけに努めます。

V プログラムの推進

1 県の取組み

「定住・二地域居住推進総合戦略庁内会議」を設置し、関係部局が連携し各種施策の総合的・効果的な推進を図ります。

2 市町村との連携強化

県及び県内全59市町村で構成する「定住・二地域居住推進総合戦略連携会議」を組織し、県の各種施策と各市町村の定住・二地域居住推進に向けた取組みとの連携強化を図ります。

3 関係機関・民間団体等との連携

県及び民間団体で構成する「ふくしまふるさと暮らし推進協議会」を組織し、定住・二地域居住希望者の多様なニーズに対応した受入体制を整備するとともに、交流人口の拡大も含めた幅広い取組みを推進します。

4 プログラムの機動的展開

プログラムの実施に当たっては、各部局、市町村、民間団体等の意見・要望を踏まえながら、適宜プログラムの追加・見直し等を行います。

VI プログラムの実施期間

本プログラムによる重点的な取組みは平成23年3月までとし、必要に応じ見直しを行います。

定住・二地域居住推進のためのイメージ図

定住・二地域居住を希望する人々

民間団体・市町村・県が行う取組みの連携

より具体的な形で
福島の魅力を発信

ちょっと住む。
ときどき住む。
ずっと住む。
みんないいかも、
福島県。

- 受入体制の整備
- PR・情報発信
- 誘導策

定住・二地域居住を希望する方にとっての福島の魅力

・ 様々なライフスタイルの実現が可能

温暖な浜通り、四季鮮やかな中通り、歴史と伝統の会津、多極分散型の都市、多様な農山漁村、地域により様々な表情をみせる豊かな県土

・ 地理的条件の優位性

首都圏から概ね 200km 圏、県土を縦横に走る高速交通網、国内外に直結する福島空港

・ 人情味あふれる人々が住む福島

温かな人情、語り部が伝える多くの民話、安全安心の食材で作られる郷土料理、昔から変わらない穏やかな暮らし

・ 世界に誇れる豊かな自然環境

全国トップクラスの水質を誇る猪苗代湖や荒川、世界遺産の調査が入ったたぶナ林、広大な森に抱かれた阿武隈高地、豊かな潮目の海

・ 生活基盤（情報・医療・交通等）の充実 ・ 安全安心な県土

情報インフラの整備やへき地医療対策への積極的な取組み、台風被害が少なく大地震が起りにくい県土

定住・二地域居住関係の事業体系図

受入れ体制の整備

- 民間団体等との連携組織設置
- 民間団体との協働
- 空き家情報の収集・活用
- 新規就農希望者への支援
- 情報通信基盤の整備

PR・情報提供

- 相談窓口の充実強化
- 首都圏でのPR活動
- ホームページ等による情報発信
- 新聞紙面を利用した情報発信
- 県人会等を通じた各種広報

誘導策

- ファンクラブの運営、大交流フェアの開催
- ワーキングホリデーの実施
- グリーン・ツーリズムの推進
- 職業相談・起業支援の充実
- 交流促進のためのまちづくり支援

【県事業】

- **ふくしまふるさと暮らし推進協議会の設置**
県として定住・二地域居住の推進について総力を挙げて取り組むために、民間団体等の59団体により構成される推進協議会を設置する。
- **ふるさと福島大交流プロジェクト（移住者と地域を結ぶネットワークづくり）**
移住された方と地域を結ぶことを目的としたウェブサイトを運営する。今年度はネットワークメンバー同士、またメンバーと地元の方との交流を促進するための交流会を実施する。
- **頑張る農業応援！新規就農定着支援事業（新規就農サポート体制の整備）**
就農希望者の把握と情報発信、経営資産等のデータベース構築等により就農と定着を支援する地域の取組みに対し支援を行う。
- **あぶくまロマンチック街道地域活性化支援事業**
コミュニティ機能が年々失われつつあることを踏まえ、移住者の持つ新たな力と知恵を積極的に活用し、集落の再生を支援する。
- **県北あぶくま定住・二地域居住、交流促進事業**
定住・二地域居住を希望する人、またはすでに実践している人からの様々な相談に応じるための相談員の設置を、二つのNPO法人に委託する。
- **東白川郡定住・二地域居住推進に向けた空き家調査事業**
東白川郡4町村の空き家および休耕農地の現況調査、集落の習わしや伝統文化等の状況調査についてNPO法人に委託し実施する。
- **携帯電話通話エリア広域ネットワーク化事業**
地理的に条件不利な地域において、携帯電話の不通話地域の解消を図るため、市町村が携帯電話等の基地局施設（鉄塔、無線設備等）を整備する場合に補助金を交付する。
- **田舎に住んで民家促進事業**
不動産、建設業関係団体等が連携して、住宅の改修工法や費用等に関する専門的相談や情報提供を行う「空き家・古民家相談センター」を設置して、移住希望者が住まいを探し出せる環境と、安心して暮らせる居住環境の整備を支援する。

【連携する市町村事業】

- **中山間地域支援枠「魅力創出支援事業」（会津若松市）**
田舎暮らし志向者の受け皿として期待される中山間地域の住民団体自らが主体的に魅力ある地域づくりを行い、もって地域の活性化や定住・二地域居住の推進を図ろうとする場合に、思案期、計画づくり期、実践期の3期にわたる支援を行う。
- **空き家バンクの開設（いわき市）**
「空き家バンク」を開設し、空き家等の情報収集や調査、収集した情報のデータベース化、移住希望者への情報提供を行うとともに、移住希望者と空き家所有者とのマッチングを行う。
- **新規農業参入推進事業（昭和村）**
カスミソウ栽培を希望するIターンやUターン者の受入事業を実施

【連携する民間事業】

- **空き家住宅利活用推進（NPO法人苧麻倶楽部）**
村内における空き家の現状を調査し、利活用できる空き家のデータバンクを作成する。将来的には、借りて、貸してのやり取りがスムーズにいくような空き家バンク的の仕組みづくりを目指す。

【県事業】

- **ふるさと暮らしセミナーの開催**
「ふくしまふるさと暮らし情報センター」などにおいて、市町村等による「ふるさと暮らしセミナー」を年20回程度開催し、顔の見える情報提供・ふるさと暮らし相談を行う。
- **ホームページによる情報発信事業**
ふるさと暮らしを志向する都市住民のニーズにあった最新の情報をホームページにより発信する。動画などを多用した、ふくしま暮らしの雰囲気などがユーザーに伝わるようなページの構成とする。
- **情報誌でのPR**
田舎暮らし専門誌にPR記事を掲載する。
- **定住・二地域居住PR小冊子の作成・配布**
前年度に田舎暮らし専門誌に掲載した内容をベースに、定住・二地域居住をPRするための小冊子を作成し、東京の相談窓口やイベント会場、ホームセンター等で配布する。
- **首都圏向け情報発信事業**
首都圏発行の新聞紙面を活用して、首都圏で開催されるイベントの紹介のほか、福島県に関する多様な情報を首都圏向けに発信し、定住・二地域居住の推進、観光の振興、県産品の振興を図る。
- **「農」の人材確保・育成事業（就農誘導支援事業）**
ホームページ等により新規就農希望者への就農関連情報の発信を行うとともに、首都圏等における就農相談会を実施する。

【連携する市町村事業】

- **定住・二地域居住に関する情報提供事業（福島市ほか）**
ホームページ、メールマガジン、広報誌等の媒体や、県外市町村人会やゆかりのある自治体との交流、各種イベント等を通して、定住・二地域居住に関する各種情報をふるさと暮らしを志向する都市住民に提供する。
- **首都圏でのPR事業（小野町）**
「ふるさと回帰フェア」への参加や「ふるさと暮らしセミナー」の実施により、小野町の自然環境や農村生活についてPRする。
- **東京猪苗代町民会交流事業（猪苗代町）**
総会時や、広報誌送付の際に定住・二地域居住に関するPRを行う。

【連携する民間事業】

- **若者向け野外イベント等でのPR活動（NPO法人苧麻倶楽部）**
主に若年層を対象に開催している野外音楽フェスティバル等にてブース出展を行い、昭和村での農業体験、田舎暮らし体験をPRし、交流・定住を促進する。
- **田舎暮らし情報サイトの開設（全日本不動産協会福島県本部）**
全日本不動産協会福島県本部ホームページ上にサイトを開設し、会員からの情報を田舎暮らし希望者に提供する。

【県事業】

- **ふくしまファンクラブの運営**
県外在住で、福島県に関心を持っている方にファンクラブ員になってもらい、定期的な情報提供などを通じて福島県との結びつきを強め、観光客の誘致や定住・二地域居住の促進につなげる。
- **ふるさと福島大交流フェア**
首都圏において、本県にゆかりや関心のある方に対し観光、県産品、交流、定住・二地域居住等を総合的にPRするフェアを開催するほか、商店街と連携したふれあい交流イベントを実施する。
- **ツーリズムワーキングホリデー事業**
尾瀬や磐梯・猪苗代地区等で活躍する観光ガイドなど観光のお手伝いをしながら福島県に滞在するワーキングホリデー事業を実施する。
- **ふくしまふるさと体験交流促進事業**
体験交流型観光（グリーン・ツーリズム、子ども農山漁村交流プロジェクトなど）の受入体制整備や誘致活動をする団体（地域協議会）への支援を行うとともに情報発信により誘客を図る。
- **元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業**
文化、伝統、歴史的な街並み等地域資源を活用した魅力ある地域づくり、自然との共生、環境保全、良好な景観形成による美しいふくしまを後世に継承する地域づくり等をハード・ソフトの両面から支援する。
- **ふくしま産業人材確保支援事業**
本県の中小企業及び産業人材確保を支援するため、東京と福島に「ふるさと福島就職情報センター」を設置し、大学等や企業を訪問して学生や企業の戦略的企業説明会への参加を促進するとともに、F(U・I・J)ターン希望者に対する戦略的企業誘致に連動した職業紹介や県内企業見学会を促進する。

【連携する市町村事業】

- **銀座・福島交流事業（福島市）**
NPO 法人「銀座ミツバチプロジェクト」との、菜の花・果物・養蜂等を通じた交流、また銀座を舞台に福島市の魅力を発信する「銀座福島塾」の開催により、定住・二地域居住先としての福島市の魅力を体験してもらう。
- **プロジェクト支援交付金（クラインガルテン下郷）（下郷町）**
クラインガルテンの整備を行う。

【連携する民間事業】

- **ふるさと誘致に関する調査研究（IWAKI ふるさと誘致センター）**
ふるさと誘致にかかる先進事例や農商工連携、ふるさと起業等新規ビジネス創出に関する調査研究を行う。
- **起業支援事業（福島県インキュベート施設ネットワーク協議会）**
福島県内各地のインキュベート施設が連携のうえ、起業希望者の相談に応じ県内外からの起業を促進する。

(事業一覧)

ふくしま定住・二地域居住推進に係る事業一覧(受入体制の整備)

| | 施策体系 | 事業名 | 事業内容 | 部局名 | 担当課等名 |
|---|---------|---|--|-------|-------|
| 1 | 受入体制の整備 | ふくしま定住・二地域居住推進戦略事業(相談窓口の設置) | 東京・銀座に「ふくしまふるさと暮らし情報センター」を設置。地域情報や不動産情報の提供、就職情報の提供やアドバイスを行う。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 2 | 受入体制の整備 | ふくしま定住・二地域居住推進戦略事業(移住・交流推進機構(JOIN)への参加) | 県が会員となることで県内市町村は全て自動的に会員となる。同団体が主催する交流会や研究会に参加すると共に、同団体のHPを通してPRを行う。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 3 | 受入体制の整備 | ふくしま定住・二地域居住推進戦略事業(全県的情報交換会の実施) | 市町村、受入活動を行っているNPO、福島ふるさと暮らし案内人等を対象とし、定住・二地域居住が抱える課題解決の方策等を検討する。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 4 | 受入体制の整備 | ふくしま定住・二地域居住推進戦略事業(ふくしまふるさと暮らし推進協議会) | 報道機関、商工関係団体、金融関係団体、観光関係団体、農林業関係団体、建設業団体、不動産関係団体、市長会、町村会、更には定住受入団体等と連携し、県内への定住・二地域居住のさらなる推進を図るため、協議会を開催。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 5 | 受入体制の整備 | ふくしま定住・二地域居住推進戦略事業(福島ふるさと暮らし案内人) | 移住する(された)方と地域の調整役を担っている方を「福島ふるさと暮らし案内人」に認証し、県外に広くPRする。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 6 | 受入体制の整備 | ふるさと福島大交流プロジェクト(移住者と地域を結ぶネットワークづくり) | 移住された方と地域を結ぶことを目的としたウェブサイトを運営する。今年度はネットワークメンバー同士、またメンバーと地元の方との交流を促進するための交流会を実施する。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 7 | 受入体制の整備 | 携帯電話通話エリア広域ネットワーク化事業 | 地理的に条件不利な地域において、携帯電話の不通話地域の解消を図るため、市町村が携帯電話等の基地局施設(鉄塔、無線設備等)を整備する場合に補助金を交付する。 | 企画調整部 | 情報政策課 |
| 8 | 受入体制の整備 | 頑張る農業応援!新規就農定着支援事業(新規就農サポート体制の整備) | ○地域の就農・定着支援体制整備(3地区) 就農希望者の把握と情報発信、経営資産等のデータベース構築等により就農と定着を支援する地域の取り組みに対し、補助金を交付する。 【内容】 (1)新規就農者が利用できる資産等のデータベース作成 (2)意向調査等による就農希望者の把握 (3)就農希望者に対する情報発信や就農セミナー等の開催 (4)新規就農者の定着のための重点的な支援活動の実施 | 農林水産部 | 農業振興課 |
| 9 | 受入体制の整備 | 田舎に住んで ^{ミカ} 民家促進事業 | 不動産、建設業関係団体等が連携して、住宅の改修工法や費用等に関する専門的相談や情報提供を行う「(仮称)空き家・古民家相談センター」を設置して、定住・二地域居住の推進に取組む市町村や、NPO等関係団体と連携して、移住希望者が理想の住まいを探し出せる環境と、安心して暮らせる居住環境の整備を支援する。 | 土木部 | 建築指導課 |

(事業一覧)

ふくしま定住・二地域居住推進に係る事業一覧(受入体制の整備)

| 施策体系 | 事業名 | 事業内容 | 部局名 | 担当課等名 |
|------------|--|--|----------|-------|
| 10 受入体制の整備 | 定住・二地域居住相談窓口設置事業 | 定住・二地域居住等に関する各種相談窓口を県北あぶくま地域内に所在する2つのNPO法人への委託により設置し、移住希望者等の受入体制を整備する。 相談窓口では通常の相談業務に加え、銀座でのふるさと暮らしセミナーの開催、新・農業人フェアへの出展等により県北あぶくま地域のPRを行うとともに、定住・二地域居住の実践にむけた誘導策として現地見学会を実施する。 また、農業研修等のお試し滞在実践者向けに、空き家を活用した一時滞在施設を確保する。 | 県北地方振興局 | 企画商工部 |
| 11 受入体制の整備 | ふくしま“ど真ん中”Uターン促進事業(連絡協議会の運営) | 県中地域における定住・二地域居住に関する取組みの連携等を図るため、関連する情報の交換を目的として、県、市町村、NPO等を構成員とする連絡協議会を定期的に開催する。 | 県中地方振興局 | 企画商工部 |
| 12 受入体制の整備 | 子どもいきいき農村ふれあい事業 | 首都圏等の小学生の受入れが可能な農家を募集し、これらを対象とした講習会、講演会、先進地視察等を実施しながら地域の受入体制を整備するとともに、モデル的に受入れを実施する。また、体験メニュー等を紹介したパンフレット等により首都圏の旅行者等へPR活動を実施する。 | 県南地方振興局 | 企画商工部 |
| 13 受入体制の整備 | 東白川郡定住・二地域居住推進に向けた空き屋調査事業 | 東白川郡4町村の空き家及び休耕農地の現況調査、集落の習わしや伝統文化等の状況調査についてNPO法人に委託し実施する。調査にあたっては、町村及び行政区長等と協議・連携し実施する。 | 県南地方振興局 | 企画商工部 |
| 14 受入体制の整備 | ふるさと南会津、癒しの里づくり交流推進事業(南会津地方定住・二地域居住推進事業) | 管内の空き家や空き店舗の状況について把握し、地域の特性や町村の施策に応じた、定住・二地域居住の推進を図る。 ・南会津地方空き家・空き店舗活用促進事業 南会津地方における空き家や空き店舗等の状況を調査してデータベースを作成し、地域の特性や町村の施策に応じた定住・二地域居住の推進に活用していく。 | 南会津地方振興局 | 企画商工部 |
| 15 受入体制の整備 | あぶくまロマンチック街道地域活性化支援事業(集落再生に移住者の力を活用) | コミュニティ機能が年々失われつつあることを踏まえ、移住者の持つ新たな力と知恵を積極的に活用し、集落の再生を支援する。 | 相双地方振興局 | 企画商工部 |

(事業一覧)

ふくしま定住・二地域居住推進に係る事業一覧(受入体制の整備)

| | 施策体系 | 事業名 | 事業内容 | 部局名 | 担当課等名 |
|----|---------|--------------------|---|---|---|
| 16 | 受入体制の整備 | ふるさと誘致支援ネットワーク構築事業 | <ul style="list-style-type: none">・ふるさと誘致に関する支援ネットワークの構築（誘致活動の浸透と受け皿キャパシティの拡大、ふるさと暮らし相談員の発掘、支所及び商工会等地域中枢機関との連携強化）・ふるさと誘致に関する情報提供事業（ふるさと回帰フェアへの参加、ふるさと暮らしセミナーの開催、その他広報活動の実施）・ふるさと誘致に関する就労支援事業（ふるさと回帰者スキル活用推進セミナー等の開催、企業人材活用制度等の活用、就職相談員の活用推進、就労・就農等に関する情報収集・提供）・ふるさと誘致に関する滞在及び定住支援事業（空き家情報登録制度「空き家バンク」の開設、不動産情報の提供・案内、ふるさと暮らしお試しプランの充実、移住者生活フォロー体制の充実、ふるさと誘致事業推進スタッフの強化）・ふるさと誘致に関する交流体験事業（いわき体験プログラムの実施）・ふるさと誘致に関する調査研究事業（先進事例等の調査研究、農商工連携・ふるさと起業等新規ビジネス創出に関する調査研究） | いわき地方振興局 | 企画商工部 |
| 17 | 受入体制の整備 | 宅地分譲事業 | 首都圏等の都市住民にとって魅力のある宅地の分譲を行う。 (市町村によって、家庭菜園の無償提供や奨励金の交付などの特典あり) | 須賀川市、相馬市、二本松市、大玉村、下郷町、西会津町、柳津町、会津美里町、西郷村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、平田村、浅川町、三春町、双葉町、浪江町、葛尾村 | 須賀川市、相馬市、二本松市、大玉村、下郷町、西会津町、柳津町、会津美里町、西郷村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、平田村、浅川町、三春町、双葉町、浪江町、葛尾村 |
| 18 | 受入体制の整備 | 中山間地域支援枠「魅力創出支援事業」 | 田舎暮らし志向者の受け皿として期待される中山間地域の住民団体自らが主体的に、魅力ある地域づくり活動を行い、もって地域の活性化や定住・二地域居住の推進を図ろうとする場合に、思案期、計画づくり期、実践期の3期にわたる支援を行う。 | 会津若松市 | 会津若松市 |
| 19 | 受入体制の整備 | 新規就農者サポート事業 | 新規就農希望者を対象に短期農業体験や農業研修などを行い、面接・審査会等により対象者を選考、平成23年度より実践研修を行う。実践研修期間中は就農支援資金の助成、農地取得の支援などを行い、平成24年度より農地賃借料補助などを行う。（平成23年度以降は予定。なお、就農しない場合等、資金の返還義務あり） | 会津若松市 | 会津若松市 |
| 20 | 受入体制の整備 | 二地域居住推進事業 | 二地域居住希望者の受入体制の整備を図るとともに、市外の方へ本市の魅力を発信します。 | 郡山市 | 郡山市 |
| 21 | 受入体制の整備 | 空き家バンクの開設 | 市内の空き家等の有効活用による定住・二地域居住の促進を図るため「空き家バンク」を開設し、空き家等の情報収集や調査、収集した情報のデータベース化、移住希望者への情報提供を行うとともに、移住希望者と空き家所有者とのマッチングを行う。 | いわき市 | いわき市 |

(事業一覧)

ふくしま定住・二地域居住推進に係る事業一覧(受入体制の整備)

| | 施策体系 | 事業名 | 事業内容 | 部局名 | 担当課等名 |
|----|---------|-----------------------------|---|----------------|----------------|
| 22 | 受入体制の整備 | 宅地分譲事業 | 首都圏等の都市住民にとって魅力のある宅地の分譲を行う。(分譲地によって、家庭菜園の無償提供や奨励金の交付などの特典あり) | 須賀川市 | 須賀川市 |
| 23 | 受入体制の整備 | 鏡石定住促進住宅 | 町定住希望者に対する、定住促進住宅(町営)の貸出 | 鏡石町 | 鏡石町 |
| 24 | 受入体制の整備 | 定住二地域居住推進事業 | Uターン希望者の受け入れを円滑に行うため、相談窓口の設置や空き家の情報管理など、総合的な情報発信の在り方について検討する。 | 南会津町 | 南会津町 |
| 25 | 受入体制の整備 | 光ファイバー網整備事業 | 町内(支所地区全域)に光ファイバー通信基盤を整備する。 昨年度本庁地区整備済。 | 柳津町 | 柳津町 |
| 26 | 受入体制の整備 | 光ファイバ通信基盤整備 | 村内全域に光ファイバを敷設し、超高速インター年と通信基盤環境を整備。併せて、地上デジタル放送難視聴解消のため再送信設備を整備。 | 昭和村 | 昭和村 |
| 27 | 受入体制の整備 | 新規農業参入推進事業 | カスミソウ栽培を希望するUターンやIターンの方の受入事業を実施(本稼働前の1年間は指導員の基で研修できます) | 昭和村 | 昭和村 |
| 28 | 受入体制の整備 | 定住・二地域居住推進事業 | 町内の空き家の情報を把握し、定住・二地域居住希望者に提供する。 | 会津美里町 | 会津美里町 |
| 29 | 受入体制の整備 | 矢吹町若者定住促進助成金事業 | 次代を担い若い方が、町内に住まいを持ち、定住することにより活気あふれるまちづくりを実現することを目的として実施します。 | 矢吹町 | 矢吹町 |
| 30 | 受入体制の整備 | 宅地分譲事業 | 住宅団地の分譲を行う。 全4区画販売 | 鮫川村 | 鮫川村 |
| 31 | 受入体制の整備 | 村営住宅整備事業 | 村営住宅を3棟6戸建設し、貸し出す。 | 鮫川村 | 鮫川村 |
| 32 | 受入体制の整備 | 空家情報の提供 | 電話等により問合せのあった案件に対し、空家情報を提供する。 | 玉川村 | 玉川村 |
| 33 | 受入体制の整備 | 宅地分譲事業 | 首都圏等の都市住民にとって魅力ある宅地の分譲を行う | 平田村 | 平田村 |
| 34 | 受入体制の整備 | 大いなる田舎までライフイいたて移住支援プロジェクト事業 | ① 空き家、土地を移住希望者向けに商品化するための仕組みづくりを行う。 ② 移住・交流の受入に熱意のある地域世話人と共に、空き家、土地情報発信の仕組みづくりを行う。 ③ 地元企業組合と連携し、空き家の改修、土地の改造、修景の一括請負システムの構築に対する指導、助言を行う。 ④ 公的助成制度の導入検討を行う。 | 飯館村 | 飯館村 |
| 35 | 受入体制の整備 | 空き家住宅利活用推進 | 村内における空き家の現状を調査し、利活用できる空き家のデータベースを作成する。将来的には、借りて、貸してのやり取りがスムーズにいくような空き家バンク的仕組みづくりを目指す。 | 特定非営利活動法人芋麻倶楽部 | 特定非営利活動法人芋麻倶楽部 |

(事業一覧)

ふくしま定住・二地域居住推進に係る事業一覧(受入体制の整備)

| | 施策体系 | 事業名 | 事業内容 | 部局名 | 担当課等名 |
|----|---------|------------------------------|--|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 36 | 受入体制の整備 | ふるさと誘致に関する就労支援事業 | ふるさと回帰者スキル活用推進セミナー等の開催、企業人材活用制度等の活用、就労・就農に関する情報収集・提供(専門機関と連携した相談対応)、就職相談員の活用 | IWAKIふるさと誘致センター | IWAKIふるさと誘致センター |
| 37 | 受入体制の整備 | 住宅購入等に関する貸付商品の提供 | 定住や二地域居住を希望される方向けの住宅ローン(貸付商品)を提供する。 | (株)東邦銀行 | (株)東邦銀行 |
| 38 | 受入体制の整備 | 福島県県南地方定住・二地域居住相談所「ラクラスしらかわ」 | 県南地方(白河市・西白河郡・東白川郡)への定住・移住や二地域居住を考えている方への相談窓口の設置 観光スポット、生活情報、不動産情報、就職相談窓口、農林業体験などの紹介。ホームページにて各種情報の発信。 | 県南地方振興局 (受託：NPO法人白河ふるさと回帰支援センター) | 県南地方振興局企画商工部(受託：NPO法人白河ふるさと回帰支援センター) |
| 39 | 受入体制の整備 | 協働の力でふるさと回帰を実現する事業 | 「ラクラスしらかわ」の運営 移住者と地元の人たちのネットワーク作り支援、田舎暮らしコンシェルジュ養成講座等のイベント開催、田舎暮らしセミナーの開催等、ホームページによる各種情報の発信 | 県南地方振興局 (受託：NPO法人白河ふるさと回帰支援センター) | 県南地方振興局企画商工部(受託：NPO法人白河ふるさと回帰支援センター) |
| 40 | 受入体制の整備 | 二地域居住体験館”碧山荘”活用事業 | 田舎暮らしを希望する人々と、地域おこしを考える地元の人との思いを連携する橋渡的存在とすべく、碧山荘を活用する交流会や各種イベントを実施する。 | NPO法人奥会津金山あそびのがっこう | NPO法人奥会津金山あそびのがっこう |
| 41 | 受入体制の整備 | 二地域居住体験館”碧山荘”活用事業 | 森林整備ボランティアを都市部より募り、荒廃する森林を整備するとともに、地域の人々との交流を実施する。 | NPO法人奥会津金山あそびのがっこう | NPO法人奥会津金山あそびのがっこう |
| 42 | 受入体制の整備 | 着地型観光の人材育成事業 | 着地型観光の担い手となる人材の育成。特に、営業力を身につけるための講座を充実させた。平成22年7月から平成23年3月まで開催。 | 財団法人福島県観光物産交流協会 | 財団法人福島県観光物産交流協会 |

(事業一覧)

ふくしま定住・二地域居住推進に係る事業一覧(PR・情報発信)

| | 施策体系 | 事業名 | 事業内容 | 部局名 | 担当課等名 |
|----|---------|--------------------------------------|---|---------|-------|
| 1 | PR・情報発信 | ふくしま定住・二地域居住推進戦略事業(ふるさと暮らしセミナーの開催) | 「ふくしまふるさと暮らし情報センター」などにおいて、合計20回程度ふるさと暮らしセミナーを開催する。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 2 | PR・情報発信 | ふくしま定住・二地域居住推進戦略事業(田舎暮らし専門誌でのPR) | 田舎暮らしを目指す方のバイブルとも言える「田舎暮らしの本」にPR記事を掲載する。田舎暮らしを成功に導くハウ・ツーについて本県での実例を紹介しながら福島県の魅力を十分に訴えかける。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 3 | PR・情報発信 | ふくしま定住・二地域居住推進戦略事業(田舎暮らしPR小冊子の作成・配布) | 前年度に「田舎暮らしの本」に掲載した記事をベースに、福島県の定住・二地域居住をPRするための小冊子を作成し、相談窓口や各種イベント、ホームセンター等において配布する。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 4 | PR・情報発信 | ふくしま定住・二地域居住推進戦略事業(Uターンホームページの充実) | ホームページを充実させ、欲しい情報がより手軽に取り出せるようにする。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 5 | PR・情報発信 | ふるさと福島大交流プロジェクト(TV番組を使ったPR) | 平成20年9月、福島の魅力や定住・二地域居住に有益な情報を満載したテレビ番組(福留功男氏出演)を作成し、衛星放送で放映。これをDVDにして、ふくしまふるさと暮らし情報センターなどで配布し、効果的にPRしている。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 6 | PR・情報発信 | 首都圏向け情報発信事業 | 首都圏発行の新聞紙面(東京新聞約60万部)を活用して、首都圏で開催されるイベントの紹介のほか、福島県に関する多様な情報を首都圏向けに発信し、定住・二地域居住の推進、観光の振興、県産品の振興などを図る。 掲載は毎月第2、第4木曜日 年間24回 | 知事直轄 | 広報課 |
| 7 | PR・情報発信 | 県営業本部戦略的広報展開事業 | 1 広報戦略会議において、広報戦略を決定し、統一したコンセプトを定めるとともに、県外イベント等の支援、広報の一元化など、部局等の連携による広報活動を展開する。 2 福島空港の就航先等に対して本県魅力をPRし、海外において県産品の拡大、観光客の誘致等を図るため、外国語ホームページのリニューアルを行う。 | 知事直轄 | 広報課 |
| 8 | PR・情報発信 | 磐梯山ジオパーク推進事業 | 磐梯山周辺の観光振興をはじめ様々な面での持続的な発展のため、磐梯山の日本ジオパーク認定を目指す取り組みに対して支援する。 ・磐梯山ジオサイトのポイント解説看板整備への補助 ・磐梯山ジオパークへの理解促進活動への補助 | 企画調整部 | 企画調整課 |
| 9 | PR・情報発信 | ふるさとふくしま応援寄附金事業 | ・HPでの情報発信 ・県人会、首都圏でのイベント等、県外在住者が集まる様々な機会を捉えてPRに努める。 ・首都圏の新聞に広告を掲載する。 ・帰省シーズンに帰省客向けにPRする。 | 総務部 | 税務課 |
| 10 | PR・情報発信 | 光ファイバ網活用による地域課題解決検討事業 | 県民が等しくICTの恩恵を享受するために、県内各地で地域密着型の情報活用能力向上などに関する研修会等を開催する。 | 企画調整部 | 情報政策課 |
| 11 | PR・情報発信 | 世界のスキーリゾートふくしま創造事業 | 県・関係市町村・関係団体・関係スキー場からなる「スキーリゾートふくしま創造会議」を運営し、ウィンタースポーツの振興、誘客、交流促進のためのさまざまな事業を展開する。 | 文化スポーツ局 | スポーツ課 |

(事業一覧)

ふくしま定住・二地域居住推進に係る事業一覧(PR・情報発信)

| | 施策体系 | 事業名 | 事業内容 | 部局名 | 担当課等名 |
|----|---------|--|---|--------------------|--------------|
| 12 | PR・情報発信 | いきいき地域文化活力創出事業 | 本事業は、各地の地域資源を生かして、新たな文化を創出することを目的に実施するものであるが、平成22年度においては、会津が誇る伝統工芸の特徴、工芸を育んできた会津の文化的な土壌を生かし、これらの文化資源に立脚した産業の活性化や伝統に革新を重ねた新しい取組みの実現など、新たな文化の創造を社会的・経済的発展につなげる“ほんものの會津文化創造地域”の形成を目指すこととし、県立博物館との連携のもと「会津・漆の芸術祭」を開催する。 | 文化スポーツ局 | 文化振興課 |
| 13 | PR・情報発信 | 「農」の人材確保・育成事業 (就農誘導支援事業) | ○新規就農希望者への就農関連情報(農地・施設、就農支援制度、等)の発信(新規就農促進ホームページの運営) ○首都圏等における就農相談の実施 | 農林水産部 | 農業振興課 |
| 14 | PR・情報発信 | ふるさと雇用再生特別基金事業 (「南会津農山村体験交流推進業務」委託) | ・南会津地方におけるグリーン・ツーリズム(農山村体験)に関する情報収集と提供(ウェブサイト構築と管理)及び案内窓口。 ・南会津地方における観光・受け入れ団体との連携を強化し、農山村体験ができるイベントの企画・運営。 ・南会津地方全域における農林家民宿の開設支援や広報等を目的とするウェブサイトの構築、体験・宿泊の推進・誘客活動。 | 農林水産部 | 南会津農林事務所 |
| 15 | PR・情報発信 | ふくしま“ど真ん中”Uターン促進事業(ホームページによるPR) | 定住・二地域居住に関して地域に密着した情報を提供するために、平成20年に設置したホームページの管内情報を更新し、引き続きPRを図る。 | 県中地方振興局 | 企画商工部 |
| 16 | PR・情報発信 | 「ようこそしらかわ」定住・二地域居住推進事業 | 行政、地域づくり団体、商工団体、グリーンツーリズム関連団体等による「県南地方定住・二地域居住推進会議」を設置し、官民一体となった取組みを進めるとともに、首都圏等でのふるさと暮らしセミナー等のPR活動を実施する。 また、移住に関する地域情報の収集整理及び移住希望者等に対する相談窓口「福島県県南地方定住・二地域居住相談所ラクラスしらかわ」を設置し、運営についてはNPO法人に委託し実施する。 | 県南農林事務所 県南地方振興局 | 企画部 企画商工部 |
| 17 | PR・情報発信 | 安全・安心な生活支援事業(雪かたしボランティア事業) | 奥会津4町村(柳津町、三島町、金山町、昭和村)において、関係機関による「会津地方雪交流ネットワーク会議」を開催しボランティア支援体制の強化を図るとともに、登録したボランティアに対し、奥会津地域の情報を定期的に提供し、交流促進や定住・二地域居住推進につなげる。 | 会津地方振興局 | 企画商工部 |
| 18 | PR・情報発信 | 会津の宝活用事業(会津の田舎暮らし応援事業) | ・会津地域の概況説明や移住者の体験談、地域の慣習等を盛り込んだ会津での田舎暮らしが想像できるようなパンフレットを作成し、田舎暮らし希望者に対し効果的な情報発信を行う。 ・当局ホームページの空屋地域情報サイトにより管内市町村の空家情報を提供していく。 | 会津地方振興局 | 企画商工部 |
| 19 | PR・情報発信 | 定住・二地域居住に関する情報提供事業 | パンフレットと市ホームページによる定住・二地域居住に関する情報提供を行う。 | 福島市 | 福島市 |

(事業一覧)

ふくしま定住・二地域居住推進に係る事業一覧(PR・情報発信)

| | 施策体系 | 事業名 | 事業内容 | 部局名 | 担当課等名 |
|----|---------|-----------------------|---|-------|-------|
| 20 | PR・情報発信 | 空き家バンク制度 | 空き家情報を市及び県ホームページへ掲載する空き家バンク制度をリニューアルするとともに中山間地域の空き家所有者への支援策を設け、空き家情報の掘り起こしに努める。 | 会津若松市 | 会津若松市 |
| 21 | PR・情報発信 | ようこそ「いわき」推進事業 | 団塊世代をはじめとした都市住民などを本市に誘致し、地域の振興を図るため、県、IWAKIふるさと誘致センター等関係機関と連携し、様々な機会を捉えた情報提供や定住・二地域居住の支援、調査研究などを行う。 | いわき市 | いわき市 |
| 22 | PR・情報発信 | 定住のコンシェルジュの設置 | 既定住者による「定住コンシェルジュ」を設置し、定住・二地域居住を希望する都市住民(以下「定住希望者」という。)の抱える不安や悩みを解消し、地域住民と定住希望者との橋渡し役を担うとともに、首都圏におけるPR活動を行う。 | 喜多方市 | 喜多方市 |
| 23 | PR・情報発信 | 定住・二地域居住に関する情報提供事業 | HPを活用し、田舎体験事業や空き家情報を積極的に提供する。また、定住・二地域を希望される方へ空き家の現地案内等を行う。 | 喜多方市 | 喜多方市 |
| 24 | PR・情報発信 | Uターン窓口事業 | Uターン窓口を設け、Uターン希望者からの問い合わせに対する情報提供を行う。また、市の広報紙やホームページにより、市内企業及びハローワークと連携した雇用情報を提供する。 | 相馬市 | 相馬市 |
| 25 | PR・情報発信 | 都市部での宣伝活動 | 田舎生活を志向する都市の住民を対象に、二本松市を積極的にPRすることにより、二本松市を定住・二地域居住の候補地としての定着を図るため、これまで交流がある足立区や世田谷区、中野区などのイベントにおいて、二本松市のPR活動を展開する。(4月～10月) | 二本松市 | 二本松市 |
| 26 | PR・情報発信 | 住宅団地分譲事業 | 分譲団地の新聞・ホームページへの広告掲載 | 西会津町 | 西会津町 |
| 27 | PR・情報発信 | 東京猪苗代町民会交流事業 | ・「総会」時における定住・二地域居住推進。 ・広報紙発送による情報の発信。(年3回) | 猪苗代町 | 猪苗代町 |
| 28 | PR・情報発信 | 空き家等情報提供事業 | 町ホームページに定住・二地域居住に関する情報を掲載し、都市住民に対して情報提供を行うとともに、空き家等の物件掌握に努める。 | 棚倉町 | 棚倉町 |
| 29 | PR・情報発信 | 三春町定住・二地域居住に関する情報提供事業 | 定住・二地域居住に関する各団体ホームページの情報更新を実施する。また、ふるさと回帰フェア等へ参加し、情報提供を実施する。 | 三春町 | 三春町 |
| 30 | PR・情報発信 | 首都圏でのPR事業 | 「ふるさと回帰フェア」への参加や「ふるさと暮らしセミナー」の実施により、小野町の自然環境や農村生活についてPRする。 | 小野町 | 小野町 |

(事業一覧)

ふくしま定住・二地域居住推進に係る事業一覧(PR・情報発信)

| | 施策体系 | 事業名 | 事業内容 | 部局名 | 担当課等名 |
|----|---------|-------------------------|--|-------------------|-------------------|
| 31 | PR・情報発信 | までいな田舎暮らし交流事業 | ① ホームページなどの広報媒体や、イベントを通じたPRを行う。 ② 移住定住の相談について専門の相談員を配置し受け入れの便宜を図る。 | 飯舘村 | 飯舘村 |
| 32 | PR・情報発信 | 若者向け野外イベント等でのPR活動 | 主に若者層を対象に開催している野外音楽フェスティバル等にてブース出展を行い、昭和村での農業体験、田舎暮らし体験をPRし、交流・定住を促進する。 | 特定非営利活動法人苧麻倶楽部 | 特定非営利活動法人苧麻倶楽部 |
| 33 | PR・情報発信 | ふるさと誘致に関する情報提供事業 | ふるさと回帰フェア2010参加、首都圏及び東北主要都市等における出張セミナー・相談会等開催、その他広報活動(HP、各種メディア)実施 | IWAKIふるさと誘致センター | IWAKIふるさと誘致センター |
| 34 | PR・情報発信 | 広報 | ・フリーウォーキング年間スケジュールポスター等を駅及び沿線市町で配布 ・季刊誌「新あぶくまの里から」を発行し沿線のPRを行う ・インターネットホームページによる広報 | 阿武隈急行(株) | 阿武隈急行(株) |
| 35 | PR・情報発信 | 「農」の人材確保・育成事業(就農誘導支援事業) | 新規就農希望者へ就農関連情報を提供し、新規就農促進を図る。(新規就農促進ホームページの運営) | (財)福島県農業振興公社 | (財)福島県農業振興公社 |
| 36 | PR・情報発信 | 首都圏セミナー | NPO法人ふるさと回帰支援センター・(有)アール・シー・エム協賛による「田舎暮らしセミナー」の開催 | NPO法人ふるさとネットワーク福島 | NPO法人ふるさとネットワーク福島 |
| 37 | PR・情報発信 | 田舎暮らし情報サイトの開設 | 全日本不動産協会福島県本部ホームページ上に左記サイトを開設し、会員からの情報を田舎暮らし希望者に提供する。 | 全日本不動産協会福島県本部 | 全日本不動産協会福島県本部 |
| 38 | PR・情報発信 | 福島の旅(観光専用ホームページ)の保守管理運営 | 観光ホームページ「福島の旅」の運営。平成22年8月時延べアクセス数240万件 | 財団法人福島県観光物産交流協会 | 財団法人福島県観光物産交流協会 |
| 39 | PR・情報発信 | 「ふくばす」による誘客事業 | 高速道路利用者に対する観光キャンペーン。「リカちゃん」をデザインしたふくばす号の制作や旅館・ホテルを対象としたふくばす特典制度 | 財団法人福島県観光物産交流協会 | 財団法人福島県観光物産交流協会 |
| 40 | PR・情報発信 | 観光マップ、観光情報紙作成 | 旬の情報誌(「ほんものの旅」年4回 各13万部発行)タイムリーな旬の情報発信、観光キャンペーン等で活用する。 | 財団法人福島県観光物産交流協会 | 財団法人福島県観光物産交流協会 |

(事業一覧)

ふくしま定住・二地域居住推進に係る事業一覧(誘導策の展開)

| | 施策体系 | 事業名 | 事業内容 | 部局名 | 担当課等名 |
|----|--------|--------------------------------------|--|-------|-------|
| 1 | 誘導策の展開 | ふくしま定住・二地域居住推進戦略事業（ふくしまファンクラブの運営） | 福島県に興味を持っている都市住民の方を会員とし、定期的な情報提供などを通じて福島県との結びつきを強め、観光客の誘致さらには定住・二地域居住の推進に繋げる。東京観光案内所やアンテナショップでのチラシ配布など会員拡大を目指すとともに、誌面を8ページに倍増し、本県の魅力をたっぷりPRする。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 2 | 誘導策の展開 | ふくしま定住・二地域居住推進戦略事業（ツーリズムワーキングホリデー事業） | 農林水産部において実施しているワーキングホリデーのノウハウを生かし、尾瀬や磐梯・猪苗代地区等で活躍する観光ガイドなど観光のお手伝いをしながら福島県に滞在するワーキングホリデー事業を実施する。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 3 | 誘導策の展開 | ふるさと福島大交流プロジェクト（ふるさと福島応援志隊） | 県外在住の本県出身者などで、ふるさとに貢献したい意欲のある方に、「ふるさと福島応援志隊」に登録いただき、母校での講演や演奏、ビジネスアドバイザーなどとして活動いただく。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 4 | 誘導策の展開 | ふるさと福島大交流プロジェクト（ふるさと福島大交流フェア） | 観光や県産品、文化など福島の魅力丸ごと体感できるイベントを首都圏で開催し、交流の推進と本県への定住・二地域居住に対する意識の向上を図る。また、首都圏の地域商店街において、商店街と連携したイベントを開催、草の根レベルでのPR、交流を行う。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 5 | 誘導策の展開 | 福島大型観光キャンペーン推進プロジェクト | 積極的な観光誘客を図るため、平成24年度を目途に全県的に実施予定の「大型観光キャンペーン」に向けて、地域が主体的に地元の魅力を提案していく着地型観光を展開するための人材育成やPR活動を行う。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 6 | 誘導策の展開 | 「合宿の里ふくしま」推進事業 | 合宿誘致による都市部住民と地元住民の交流などによる地域の活性化を図るため、「ふくしま合宿誘致推進会議」を設けて受入体制の検討を行うとともに、新規合宿団体を対象とした「モニター合宿」の実施や全県的な合宿情報の発信などを行う。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 7 | 誘導策の展開 | 上海万博関連PR強化事業 | 平成22年度に開催される上海万博のタイアップ事業である上海世界旅遊観光資源博覧会にブース出展し、本県の観光や県産品などの魅力をPRすることにより、本県への誘客、さらには福島空港上海便の利用促進につなげる。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 8 | 誘導策の展開 | ふくしまふるさと体験交流促進事業 | 体験交流型観光（グリーン・ツーリズム、子ども農山漁村交流プロジェクトなど）の受入体制整備や誘致活動をする団体（地域協議会）への支援を行うとともに情報発信により誘客を図る。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 9 | 誘導策の展開 | 福島空港を活用した青少年交流推進事業 | スポーツの競技力向上や交流人口の拡大、福島空港の利活用を図るため、福島空港を利用してJヴィレッジで合宿を行う団体等に対して支援を行う。また、海外から教育旅行を受け入れた学校が、相互交流のために返礼を行う際に支援を行う。 | 観光交流局 | 空港交流課 |
| 10 | 誘導策の展開 | ふくしまグリーン・ツーリズム推進事業 | グリーン・ツーリズム受入団体、関係機関等を構成員とした推進会議の運営を行い、都市住民のニーズに即応した推進方策の検討、これまで育成を図ったコーディネーター、インストラクター等を活用した情報の発信や販売促進活動等を行う。 | 観光交流局 | 観光交流課 |

(事業一覧)

ふくしま定住・二地域居住推進に係る事業一覧(誘導策の展開)

| | 施策体系 | 事業名 | 事業内容 | 部局名 | 担当課等名 |
|----|--------|------------------------|---|-------|----------|
| 11 | 誘導策の展開 | ふくしまグリーン・ツーリズム促進事業 | 福島県ふるさと子ども夢学校推進協議会において、活動内容のレベルアップのための研修会を実施する。また、農家民宿開設を支援するため、研修会やモニターツアー等に要する経費を補助する。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 12 | 誘導策の展開 | ふくしまアクティブツーリズム総合戦略事業 | 「食」「健康づくり」「歴史と文化」「体験・交流」「産業観光」を中心としたテーマ性のある観光メニューを開発、メディアを通じた情報発信により、県内での滞在型観光を創出する着地型旅行商品の底上げを図る。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 13 | 誘導策の展開 | 観光プロモーション全国展開ステップアップ事業 | 本県観光の魅力を伝えるため、首都圏を中心とした地域にむけて官民一体となったプロモーションを展開する。 | 観光交流局 | 観光交流課 |
| 14 | 誘導策の展開 | 国際会議等誘致推進事業 | (1)国際会議等誘致推進研究会開催事業 国際会議等の誘致に意欲的な市町村とその経済団体を構成員とする国際会議等誘致推進研究会を開催し、県全体としての方策の推進を図る。年3回開催予定 (2)国際会議等誘致モデル事業 国際会議の誘致を計画的に目指す団体に対して、課題への対応の取り組みを支援する。 (1団体へ1,100千円補助) (3)インセンティブ旅行キーパーソン招聘事業 観光庁とのタイアップにより、インセンティブ旅行のキーパーソンを本県に招聘し、インセンティブ旅行の効果と実施後の課題や今後の対策について検証する。 (4)国際会議等の誘致活動事業 外務省・在日外国公館への訪問活動や野口英世アフリカ賞受賞記念事業に関する内閣府への要請等の県外活動のほか、学術会議を誘致するため県内関係機関を訪問する。 | 生活環境部 | 国際課 |
| 15 | 誘導策の展開 | 活力ある商店街支援事業(中心市街地活性化) | 地域の特色を活かし、まちづくりの観点に立った商店街の活性化を推進するため、商店街の現状、課題に即した戦略の構築を促進するとともに、空き店舗対策の事業に取り組む商店街等に対して支援する。また、オフィス機能や都市型産業の市街地への集積を促進するため、県内外の関連企業へ情報提供やPRを行う。 | 商工労働部 | 商業まちづくり課 |

(事業一覧)

ふくしま定住・二地域居住推進に係る事業一覧(誘導策の展開)

| | 施策体系 | 事業名 | 事業内容 | 部局名 | 担当課等名 |
|----|--------|--|--|---------|----------|
| 16 | 誘導策の展開 | ふくしま産業人材確保支援事業 | 本県産業を支える中小企業及び産業人材確保を支援するため、東京と福島に「ふるさと福島就職情報センター」を設置し、大学等や企業を訪問して、学生や企業の戦略的企業説明会への参加を促進するとともに、F(U・I・J)ターン希望者に対する職業紹介や高校生・大学生等の県内企業見学を促進する。 1 ふるさと福島就職情報センター運営事業 2 戦略的企業説明会事業 3 企業見学ツアー事業 4 産業人材確保広報事業 | 商工労働部 | 雇用労政課 |
| 17 | 誘導策の展開 | 農山村地域等活性化対策事業 | 交付金の交付により、体験農園施設(クラインガルテン)の整備を支援することで、滞在型の都市農村交流を推進する。地域が一体となって都市住民等を受け入れられる体制を整備し、多様な交流事業の展開による地域活性化に努めることにより、施設利用者から定住者への発展を図る。 | 農林水産部 | 農村振興課 |
| 18 | 誘導策の展開 | ふるさと雇用再生特別基金事業(県南故郷ふれあい体験事業) | (1)学校、旅行者等へのPR、相談対応 (2)学校、旅行者等への体験プログラムの提案 (3)学校、旅行者、受入農家等との連絡調整 (4)受入時の事務局 | 農林水産部 | 県南農林事務所 |
| 19 | 誘導策の展開 | ふるさと雇用再生特別基金事業(地域資源を活用した新たな旅行商品づくり事業) | (1)学校、エージェント等のニーズ調査、教育旅行等に利用できる農林業体験等の地域資源調査 (2)受入農家、施設等との連携方策の検討 (3)新たな体験メニュー及び旅行商品の検討 (4)新たな体験メニュー及び旅行商品の提案(学校、エージェント等)・提供(県南広域協議会、管内関係施設) | 農林水産部 | 県南農林事務所 |
| 20 | 誘導策の展開 | 元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業 | ・文化、伝統、歴史的な街並み等の地域資源を活用した魅力ある地域づくり。 ・観光資源の活用、広域的連携による交流人口の拡大を図る地域づくり ・自然との共生、環境保全、良好な景観形成による美しいふくしまを後世に継承する地域づくり。 ・地域単位における各主体の連携や協働による個性と魅力ある地域づくり。 | 土木部 | まちづくり推進課 |
| 21 | 誘導策の展開 | 新白河ライフパーク現地見学助成事業 | 首都圏在住の方で宅地購入を検討し、現地見学を希望している方一組に付き同一生計の2名まで、一人当たり1万円分を上限にびゅう商品券を助成。原則1回。 | 企業局 | 販売推進課 |
| 22 | 誘導策の展開 | ふくしま“ど真ん中”UIターン促進事業(セミナー等への参加・実施、体験交流ツアーの実施) | ・福島県県中地区が定住・二地域居住の適地であることをPRするために、「ふるさと回帰フェア」に参加するとともに、セミナーを実施する。また、定住・二地域居住に関する研修会等に参加する。 ・定住・二地域居住の適地である福島県県中地区の魅力而定住希望者に知っていただくために、市町村、NPO等と協働で交流体験ツアーを実施する。 | 県中地方振興局 | 企画商工部 |
| 23 | 誘導策の展開 | 東白川都市交流促進事業 | 移住希望者、就農希望者を募集し、年間を通じて、農業技術、林業技術、食・加工、地域での生活などのテーマでの講座開催について、NPO法人に委託して実施する。 | 県南地方振興局 | 企画商工部 |

(事業一覧)

ふくしま定住・二地域居住推進に係る事業一覧(誘導策の展開)

| | 施策体系 | 事業名 | 事業内容 | 部局名 | 担当課等名 |
|----|--------|--|---|----------------------|--|
| 24 | 誘導策の展開 | 会津ふるさと産業プロデュース事業(ワーキングホリデー受入体制強化事業) | 就農、定住・二地域居住も視野に入れ、都市住民や大学生を対象に広く一般から参加者を募り、ワーキングホリデー形式での交流事業を実施するとともに、グリーン・ツーリズムの取り組みに関する実務的な研修を通して、都市と農村の多様な交流を促進するとともに、農業者の資質向上を図る。 ○都市と農村の交流・会津ワーキングホリデー事業 実施時期 7月～10月(2泊3日～3泊4日程度) 実施場所 会津管内の受入農家 募集対象 都市部住民、大学生 作業内容 種まき、草むしり、稲刈り、野菜の収穫等の農作業 ○新規受入農家の開拓及び受入農家の資質向上を図るため研修会を開催する。 | 会津農林事務所 | 地域農林企画課 |
| 25 | 誘導策の展開 | ふるさと南会津、癒しの里づくり交流推進事業(南会津地方新規就農、定住・二地域居住誘導促進事業:新規就農情報発信事業) | 農林業の担い手を図るため、都市部住民やこれからの地域を担う高校生等に農業体験等を提供することにより新規就農・定住の誘導を図る。また、クライנגアルテン下郷入居者の定住化につなげていくため、受入組織の活動を支援する。 1 「ワーキングホリデー」型滞在体験事業 2 新規就農情報発信事業 3 高校生等に対する農林業理解促進事業 4 クライנגアルテン下郷受入組織への支援事業 | 南会津農林事務所 南会津地方振興局 | 企画部地域農林企画課、農業振興普及部農業振興課、企画商工部地域づくり・商工労政課 |
| 26 | 誘導策の展開 | あぶくまロマンチック街道地域活性化支援事業 | 協議会構成町村が主体となり、定住・二地域希望者が阿武隈の暮らしを体験できるツアーを実施し、本地域のあたたかさを体感し、実際の農業体験により、定住・二地域居住を推進する。 | 相双地方振興局 | 企画商工部 |
| 27 | 誘導策の展開 | ふるさと交流事業 | 首都圏在住住民等を福島市に招き、宿泊を伴う農作業体験を通して地域住民と交流することにより、定住・二地域居住先としての本市の魅力を経験してもらう。 | 福島市 | 福島市 |
| 28 | 誘導策の展開 | 銀座・福島交流事業 | NPO法人「銀座ミツバチプロジェクト」との、菜の花・果物・養蜂等を通じた交流、また銀座を舞台に福島市の魅力を発信する「銀座福島塾」の開催により、定住・二地域居住先としての本市の魅力を経験してもらう。 | 福島市 | 福島市 |
| 29 | 誘導策の展開 | 子ども農山漁村交流プロジェクト推進事業 | 総務省、文部科学省、農林水産省と連携して、子どもたちの力強い成長を支える教育活動として、小学生を対象に農山漁村での1週間程度の宿泊体験活動を推進します。 | 郡山市 | 郡山市 |
| 30 | 誘導策の展開 | 都市と農村交流促進事業 | 首都圏在住者を対象とした農家民泊と農業体験を実施し、農業への理解を深め、中産間地域の活性化を図ります。 | 郡山市 | 郡山市 |
| 31 | 誘導策の展開 | ふるさといわき就業支援事業 | 一般求職者及び大学等卒業予定者並びにU・Iターン希望者等を対象とした就職面接会の開催や、就職関連情報の提供等により、「ふるさといわき」への就業機会を具体的に提供し、市内における雇用の促進を図る。 | いわき市 | いわき市 |

(事業一覧)

ふくしま定住・二地域居住推進に係る事業一覧(誘導策の展開)

| | 施策体系 | 事業名 | 事業内容 | 部局名 | 担当課等名 |
|----|--------|-------------------|---|------|-------|
| 32 | 誘導策の展開 | すかがわグリーンツーリズム推進事業 | グリーンツーリズムをより一層推進するため、推進連絡会議を設置し、団体間の連携・調整や農業資源の情報を共有し、実践団体の育成を図り、都市住民等との交流により農業に対する理解を深め、地域の活性化を図るとともに、須賀川の魅力をホームページなどで広くアピールする。 | 須賀川市 | 須賀川市 |
| 33 | 誘導策の展開 | オーナー制度 | 地域資源である蕎麦や棚田を活用したオーナー制度を実施し、地域間交流の促進を図る。 1 そばオーナー制度 ・種まき：7月下旬 ・花見：9月中旬 ・収穫祭：11月上旬 2 棚田オーナー制度 ・4月25日(日)：田起こし、山菜採り外 ・5月30日(日)：田植え外 ・6月27日(日)：除草・草刈、野菜の手入れ外 ・8月1日(日)：芋堀、野菜収穫外 ・9月4日(土)：除草・草刈外 ・10月17日(日)：稲刈り・サデかけ外 ・11月20日(土)：収穫祭(もちつき、そば打ち) | 喜多方市 | 喜多方市 |
| 34 | 誘導策の展開 | グリーンツーリズムの推進 | ①田んぼのオーナー制度 ②田植え体験 ③常葉周辺の歴史と文化財めぐり ④夏野菜収穫とホテル観賞会 ⑤稲刈りとときのコ採り体験 ⑥収穫祭(米の引き渡し) | 田村市 | 田村市 |
| 35 | 誘導策の展開 | 南相馬市ふるさと回帰支援事業 | 首都圏の団塊の世代を始め、ふるさと回帰希望者を積極的に本市へ迎え入れることにより、定住及び交流人口の増加を図るとともに、地元の産業、経済、地域活性化を推進し、都市と地域の交流を通じた豊かさを実感できるよう形成する。 | 南相馬市 | 南相馬市 |
| 36 | 誘導策の展開 | おおたま定住促進対策 ネットワーク | 村内で宅地造成等を計画・実行している民間業者と村が官民一体となって効果的な定住促進対策を実行することを目的に設置。村のホームページ(ハウジングサポート情報)及び村内2箇所に分譲地ポスターを掲示し、村内の分譲地や賃貸情報を提供している。 | 大玉村 | 大玉村 |
| 37 | 誘導策の展開 | 天栄村ふるさと子ども夢学校推進事業 | 福島県ふるさと雇用再生特別基金事業を活用して、子ども農山漁村交流プロジェクトの受け入れ体制づくりと定住・二地域居住推進を目的とした事業を、村が天栄村商工会に委託している。同商工会では平成21年度に村内の農林家や農業委員会、商工会、観光協会等の関係機関による「天栄村ふるさと子ども夢学校推進協議会」を立ち上げ、交流体験プログラムの作成やインストラクターの確保のためのテストイベントを開催するとともに、定住・二地域居住のための情報収集と情報提供の作業を進めている。 | 天栄村 | 天栄村 |

(事業一覧)

ふくしま定住・二地域居住推進に係る事業一覧(誘導策の展開)

| | 施策体系 | 事業名 | 事業内容 | 部局名 | 担当課等名 |
|----|--------|--------------------------------------|---|-------|-------|
| 38 | 誘導策の展開 | 天栄村エコミュージアム構想事業（EIMY湯本プロジェクト） | 福島県ふるさと雇用再生特別基金事業を活用して、天栄村が東北大学大学院環境科学研究科に委託している事業。同大学と地元住民が組織する「E/MY湯本地域協議会」の協働により、天栄村湯本地区の地域を丸ごと「博物館」と見立て、風力発電所などの自然エネルギーに加え、自然、田畑・山林や集落、文化財、年中行事、食と暮らしぶりなどを展示室とみなし、住民が主役の地域参加型でつくり上げる新しいタイプの野外博物館づくり（エコミュージアムづくり）をめざす取り組みを展開中である。地域資源の調査研究と季節毎のモニターイベント開催をとおして地域コーディネーターやツアーガイドを育成し、持続可能なしくみづくりを提案する。 E/MY湯本地域協議会のホームページ： http://www.geocities.jp/eimyumoto/index.html | 天栄村 | 天栄村 |
| 39 | 誘導策の展開 | プロジェクト支援交付金（クラインガルテン下郷） | ラウベ 10棟を追加整備 ※平成22年度開所 10棟整備済 | 下郷町 | 下郷町 |
| 40 | 誘導策の展開 | グリーンライフ推進事業 | 日本生活協同組合連合会との連携により、都市部住民を対象とした山村体験ツアーを実施する。 | 只見町 | 只見町 |
| 41 | 誘導策の展開 | 農家民泊事業 | 都市部からの小学校中学校生徒に農業体験の提供をする。受入は地元農家の方による。 | 只見町 | 只見町 |
| 42 | 誘導策の展開 | グリーンツーリズム事業 | ○グリーンツーリズムに取り組んでいる他町村の現状を視察 ○体験プログラムの作成 | 西会津町 | 西会津町 |
| 43 | 誘導策の展開 | 福島県事業「H22年度地域力創造アドバイザー事業」に応募（選考結果待ち） | 選考されれば、アドバイザーからアドバイスをいただき、 ○グリーンツーリズムに取り組む人の人材育成 ○体験インストラクターなどの養成 を実施予定 | 西会津町 | 西会津町 |
| 44 | 誘導策の展開 | 田舎暮らし体験学校 | 民間主催のイベントを町と共同企画し、田舎暮らしの体験を通して、猪苗代町のPR活動を展開する。 | 猪苗代町 | 猪苗代町 |
| 45 | 誘導策の展開 | 定住・二地域居住お試しプログラム | 田舎暮らしに興味がある、または定住・二地域居住を考えているが不安があるという方のために、農家民宿を利用し、農業体験や地元住民との交流をしながら、「お試し暮らし」を体験する。 | 会津坂下町 | 会津坂下町 |

(事業一覧)

ふくしま定住・二地域居住推進に係る事業一覧(誘導策の展開)

| | 施策体系 | 事業名 | 事業内容 | 部局名 | 担当課等名 |
|----|--------|---------------------------|--|-------|-------|
| 46 | 誘導策の展開 | 棚田オーナー制度 | 都市住民を対象に農作業を通じて地域間交流を図る。 平成22年度スケジュール 第1回 4/29(木)観音祭り、きのこ植菌、畦ぬり体験 第2回 5/23(日)田植え、山菜採り 第3回 6/19(土)草刈り、郷土料理づくり体験 第4回 7/31(土)芋掘り、ソバ蒔き、昆虫採集 第5回 10/9(土)稲刈り、「さで」掛け 第6回 11/7(日)収穫祭、餅つき他 | 柳津町 | 柳津町 |
| 47 | 誘導策の展開 | 二地域居住・グリーンツーリズム宿泊体験施設改修事業 | 地域資源や、地区住人との交流を通じて、農村の価値や魅力を再発見し、田舎暮らしに触れる農村体験旅行(グリーンツーリズム)で、滞在型の展開を求められていることから、遊休学校施設を改修し「田舎暮らし体験」の機会を提供していく。 施設整備後は、管理委託契約により行政区が維持管理する。 | 柳津町 | 柳津町 |
| 48 | 誘導策の展開 | カスミソウ栽培体験ワークショップ | 新規就農に向け1泊2日のカスミソウの苗植え付けから収穫、出荷作業を体験(6月から9月の週末に開催) | 昭和村 | 昭和村 |
| 49 | 誘導策の展開 | 関山宿体験 | 田舎暮らしや農業に興味がある方を対象に、民家を改装した宿泊施設2棟を用意し、農業・自然・伝統文化・食・ボランティアについて体験メニューを展開する。また、田んぼオーナーを募集している。 | 会津美里町 | 会津美里町 |
| 50 | 誘導策の展開 | グリーンツーリズム事業(田んぼのオーナー制度) | 矢吹町の姉妹都市である「三鷹市」の市民約25組100名程度を対象とし、「田んぼのオーナー制度」を実施、春の田植え、秋の稲刈りの2回矢吹町に訪れ農作業の体験と矢吹町の新鮮で美味しい農産物の試食等を行ないます。 農作業の体験を通じて、都会と農村との自然、文化、人々との交流を楽しむものです。日頃の田んぼの維持管理は矢吹町認定農業者連絡協議会が行ないます。 | 矢吹町 | 矢吹町 |
| 51 | 誘導策の展開 | 山王の里 田んぼのオーナー制度 | 都市住民に田んぼのオーナーになってもらい、田植え、草取り、稲刈りの年3回、1泊2日で農業・農村体験をしてもらい、田舎の魅力をアピールし、田舎暮らしへ誘導する。 | 鮫川村 | 鮫川村 |
| 52 | 誘導策の展開 | 都市農村交流事業 | 埼玉県川口市の住民との交流事業で、農業体験を行う | 平田村 | 平田村 |
| 53 | 誘導策の展開 | 三春町定住・二地域居住お試しプログラム | 田舎暮らしに興味がある、または定住・二地域居住を考えているが不安もあるという方に、自炊が出来るコテージ(三春の里田園生活館)を利用しながら、短期のお試し生活体験をしていただく。宿泊しながら、地元野菜農家での農作業など体験や、地元住民及び既定住者との交流会の実施により、定住に向けての不安の解消を図る。 | 三春町 | 三春町 |

(事業一覧)

ふくしま定住・二地域居住推進に係る事業一覧(誘導策の展開)

| | 施策体系 | 事業名 | 事業内容 | 部局名 | 担当課等名 |
|----|--------|------------------|--|----------------|----------------|
| 54 | 誘導策の展開 | 町有林おすそわけ事業 | 永住を目的として町に転入し、町内業者により新築住宅を建築する方に、建築資材として町有林をトラック1台分プレゼントする。 | 小野町 | 小野町 |
| 55 | 誘導策の展開 | ようこそ小野町定住祝金交付事業 | 町内に住宅(新築住宅または中古住宅)を取得し定住する方に、町内の商店街で使用できる商品券10万円相当をプレゼントする。中学生以下の子どもがいる場合には、子ども1人当たり1万円を加算する。 | 小野町 | 小野町 |
| 56 | 誘導策の展開 | 定住化促進事業 | 町が販売する住宅団地内の住宅建設を支援し、人口増加及び定住促進を図る。 ・定住奨励金…土地と建物に係る固定資産税相当額を5年間交付 ・住まいの環境づくり支援金…環境に優しい住環境の整備、新エネルギー機器の導入などに要する費用を支援(限度額50万円) | 双葉町 | 双葉町 |
| 57 | 誘導策の展開 | 定住・二地域居住お試しプログラム | 田舎暮らしに興味がある、または定住・二地域居住を考えているが不安があるという方のために、簡易宿泊施設を利用した「お試し暮らし」(短期の生活体験)を体験していただく。宿泊しながら農業体験や、地域住民との交流もできる。 | 浪江町 | 浪江町 |
| 58 | 誘導策の展開 | 田舎暮らし短期体験住宅貸付事業 | ① 空き家を借り受け、村に移住定住を計画している方に対しい県住宅として貸付する。 | 飯館村 | 飯館村 |
| 59 | 誘導策の展開 | 田舎暮らし体験住宅 | 古民家を改修した体験施設を、都市部の移住・定住希望者へ利用貸出をする。施設利用者に対して様々な田舎体験プログラムを提供する。 | 特定非営利活動法人芋麻倶楽部 | 特定非営利活動法人芋麻倶楽部 |
| 60 | 誘導策の展開 | 都市農村交流 | 昭和村の魅力を感じてもらい、将来的に移住・定住につながるような交流・研修の機会を提供する。と同時に、地域の課題解決(耕作放棄地や空き家の増加など)も目指す。 ・ワークキャンプ (週末を利用した短期滞在型から数カ月までの中期滞在型農村ボランティア体験プログラム) ・エコ・田舎暮らし体験ツアー (昭和村の自然、文化を体感できる機会を提供し、昭和村ファンの獲得を目指す) ・コミュニティ・ファーマー育成プログラムの開発 (耕作放棄地・空き家を利活用した定住・就農希望者のためのプレ就農プログラム。地域づくりの担い手になれる農家を育成する) ・田舎で働き隊員の受入 (地域づくりNPOでの就労体験の場を提供。活動終了後の定住を目指す) | 特定非営利活動法人芋麻倶楽部 | 特定非営利活動法人芋麻倶楽部 |

(事業一覧)

ふくしま定住・二地域居住推進に係る事業一覧(誘導策の展開)

| | 施策体系 | 事業名 | 事業内容 | 部局名 | 担当課等名 |
|----|--------|-------------------------|--|-----------------------|-----------------------|
| 61 | 誘導策の展開 | ふるさと誘致に関する支援ネットワーク構築 | ふるさと誘致事業の地域浸透・受け皿整備を目的に市内各地域団体や市内企業等との連携を強化するための周知活動並びに賛助会員募集を実施。移住コンシェルジェの見直し及び人材発掘を実施。 | IWAKIふるさと誘致センター | IWAKIふるさと誘致センター |
| 62 | 誘導策の展開 | ふるさと誘致に関する滞在及び定住支援事業 | 空き家情報登録制度「空き家バンク」開設準備並びに稼働、不動産協会と連携した情報提供・地域案内、市内旅館・ホテルと連携した短期滞在支援「お試し滞在プラン」の実施、移住者生活フォローの充実 | IWAKIふるさと誘致センター | IWAKIふるさと誘致センター |
| 63 | 誘導策の展開 | ふるさと誘致に関する交流体験事業 | いわきふるさと体験プログラムの実施 | IWAKIふるさと誘致センター | IWAKIふるさと誘致センター |
| 64 | 誘導策の展開 | ふるさと誘致に関する調査研究事業 | ふるさと誘致に係る先進事例や農商工連携やふるさと起業等新規ビジネス創出に関する調査研究を行う。 | IWAKIふるさと誘致センター | IWAKIふるさと誘致センター |
| 65 | 誘導策の展開 | 阿武隈沿線フリーウォーキング | 毎月第1日曜日「フリー切符」の日に沿線の四季の見どころをコースに設定し、地域の人情に触れながら自由に参加いただく。 4月～9月(9回) | 阿武隈急行(株) | 阿武隈急行(株) |
| 66 | 誘導策の展開 | 起業支援事業 | 福島県内各地のインキュベート施設が連携のうえ、起業希望者の相談に応じ県内外からの起業を促進する。 | 福島県インキュベート施設ネットワーク協議会 | 福島県インキュベート施設ネットワーク協議会 |
| 67 | 誘導策の展開 | 「農」の人材確保・育成事業(就農誘導支援事業) | 県内において新規就農社を確保するため就農相談を実施する。(随時の相談対応、県内外の相談会への出展等) | (財)福島県農業振興公社 | (財)福島県農業振興公社 |
| 68 | 誘導策の展開 | クラインガルテンふくしま | 田舎暮らしのお試しとして、市民農園・指導員・宿泊がセットになった年間利用課員を募集する | NPO法人ふるさとネットワーク福島 | NPO法人ふるさとネットワーク福島 |